

経済学部 合格者の集い

文責 経済学科教員 境和彦

本日のプログラム

13時開始

1. 学部長挨拶 世利洋介学部長

2. 入学前教育、経済学部での学修の流れ 境和彦(経済学科教員)

3. 特徴あるプログラム(主に体験型プログラム)の紹介・体験報告

①アクティブプログラム「筑後川ブランド大会」 江口大雅(文化経済3年)、

②アクティブプログラム「国際経済研究会」 渡邊美咲(経済3年)

③海外研修「上海コース」 草原小羽紅(経済3年)

④海外研修「中国コース」 古澤千晴(経済2年)

4. 部・サークル・委員会等の紹介

①「のだめ弦楽合奏団」 境和彦(経済学科教員)

②「アメリカンフットボール部」 菱岡直貴(経済4年)

③「ゼミナール連合」(学部直属委員会) 吉田慶介(経済3年)、

5. テーブルに分かれての懇親会 1テーブルにつき合格者 14~15名、教員 1名、TA2人

学修面、生活面など、学生生活全般に関する相談

16時00分終了

参加教員： 世利洋介(経済学科)、松石達彦(経済学科)、野崎竜太郎(経済学科)、
藤谷岳(文化経済学科)、境和彦(経済学科)

参加 TA： 松岡廣羽(経済学科 4年)、石本せな、草原小羽紅、深町佳広、吉田慶介、渡邊美咲(経済学
科 3年)、江口大雅、澤海成、土肥大征(文化経済学科 3年)、古澤千晴(文化経済学科 2年)

2. 入学前教育・経済学部での学修の流れ

入学前教育について

推薦入試で合格した皆さんに、入学までの期間に基礎学力を高め、大学での授業への不安を和らげてもらうために実施。テキストとDVDを活用した通信教育。

「経済を学ぶための数学ミックス」、「経済を学ぶための現代世界」、「大学の学びにつながるレポート力養成」、「使える基礎英語」の中から1講座以上を選択。12月25日に教材発送。1月4日から一週間で2講分のペースで課題を提出（1講座選択の場合）。2講座受講なら8日で3講分、3講座なら8日で4講分。

経済学部での学修の流れ

1年次 経済学の基礎を勉強。1年次終わりに学科選択

2年次前期 経済学科、文化経済学科に分かれて進級 2年次前期終わりに、コース選択・ゼミ選択

2年次後期～卒業 下記のコースのいずれかのゼミに所属して専門分野の学修

<経済学科>

- ・**経済理論・政策コース** 主に経済系の資格取得や公務員の行政職向けの勉強を中心にした学生向け
- ・**国際比較経済コース** 主に経済のグローバル化や外国経済を学び、商社などを志望する学生向け
- ・**金融・情報コース** 主に金融システム、情報処理を学び、金融業界やICT業界を志望する学生向け

<文化経済学科>

- ・**地域創造コース** 主に地域経済の活性化、NPO活動などを学び、地域経済に貢献したい学生向け
- ・**環境・ツーリズム（観光）コース** 主に環境や観光を学び、その関連業種に就きたい学生向け

しかし、実際、選択した学科・コースに縛られず職業選択が可能。経済理論・政策コースのゼミでも観光業に就職できるし、環境・ツーリズムコースのゼミでも公務員になれる。経済学は汎用性が高いので、それが可能。

3. 特徴あるプログラム(主に体験型プログラム)

座学だけでなく実践的なプログラム（海外研修、地域事情研修、アクティブプログラム等）を導入することにより、卒業生の質の高さを確保。いずれも2年次以降履修可。

例 ★海外研修

経済学部のみプログラムで補助金あり。たとえばタイコースでは、現地の日本人商工会議所、日系企業・地場系企業訪問、スラム見学等、**学生時代にしかできないプログラムを用意。**

「タイコース」、「カンボジアコース」、「台湾コース」、「中国コース」、「ドイツコース」など

★アクティブプログラム 教員発案のものだけでなく学生発案のものも単位認定可

- ・「キャンパスライフ活性化」他大との研究会・交流会開催、定期試験前の勉強会
- ・「国際経済研究会」 国際経済に関する興味深いテーマで発表会、討論会、上映会等実施 など

★地域事情研修

補助金あり。主に九州・山口の地域に足を運び、地域の社会情勢、経済情勢を深く学ぶ。

「熊本コース」、「山口コース」、「日田・竹田、尾道コース」、「筑後川流域・平戸コース」など

4. 部活・サークル・委員会等

スポーツ系、文科系のような部活・サークルがあるが、いわゆる「飲みサー」、「学祭実行委員会」には注意が必要。授業にろくに出ない、留年する学生も多く、「自由」と「身勝手」をはき違えている嫌いがある。入るなら自己責任で。